

# 地方都市における地区医師会が運用する PCR 検査センター

かりまた内科医院 狩俣洋介  
浦添総合病院救急集中治療部 米盛輝武  
沖縄県立中部病院感染症内科 高山義浩

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、重症・中等症の患者に対する治療を主に担う重点医療機関の機能拡充と共に、PCR 検査体制の強化を目的として PCR 検査センターの設置が進んでいる。

ただし、人的・物的リソースやアクセスの点で恵まれている大都市圏に比べて、地方都市における PCR 検査センターの設置および運用は決してたやすいものではない。

浦添市医師会（沖縄県）では、開業医の参画によるドライブスルー形式の PCR 検査センターを実施したので、その運用と感染対策の要点を紹介する。

## 1. センター設置の準備

### 運営体制の構築

- PCR 検査センターを設置するにあたっては、都道府県が地区医師会等に対して、PCR 検査を集中的に実施する機関として運営の委託を行うことを基本とし、運営にあたる関係者が十分に連携・調整し、地域の実情に応じて柔軟に運用していく。
- 会場については、費用負担の少ない公的会場を選定することが一般的である。テントや誘導路の確保については、医師会事務局で設置することも可能であるが、イベント企画会社に依頼することも検討する。

### 会場設定の留意点

- ・ 受検者が自家用車でアクセスしやすい、交通の便の良い場所
- ・ ドライブスルー方式をとするため、公道の渋滞を避けるなど車の動線を考慮
- ・ 警備や誘導が容易であり、スタッフが密集せずに業務にあたるオープンスペース
- ・ 患者容態が悪化したときに備え、搬送できる医療機関が近隣にあること
- ・ スタッフの休憩のため、換気が良く、かつ冷暖房の効いた控室があること
- ・ スタッフが汚染されたときのため、可能であれば緊急に使用できるシャワー室があること

- 医療機関の敷地外に、ドライブスルー方式で PCR 検査センターを設置する場合には、診療所の開設に係る手続を要する。運用上では、患者が受診した開業医からオーダーさ

れた PCR 検査のための検体採取を行う地区医師会共用の検査室と考える。そのため、検体採取する患者の受付と管理、検体採取、検体の照合と管理および発送まで業務を専ら行い、独自の診療費請求などは行わない。

- 検査結果の通知方法について、地域の診療所等と調整を行っておく。加えて、患者が陽性であった場合の患者への対応方法についても、事前に都道府県の医療本部と調整・連携しておくことが望ましい。その際、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システムの Web フォームへの入力による報告についても適宜活用する。

### 人員と物品の確保

- 必要な人員を算定する。地方において、1日あたり10人程度を対象として数時間の運用であれば、医師（診療）1名、看護師（診療補助および検体採取）2名、検査技師（採取した検体の扱い）1名、事務（全体事務、連絡調整、患者誘導）10名程度と考える。予約の受付ならびに管理は、地区医師会の事務局が業務を担うことを考える。
- 必要となる感染防護具について、あらかじめ必要量を算定し、都道府県から十分量が配分されるよう調整する。検体採取に必要なスワブ、輸送培地、二次輸送容器をあらかじめ十分量を確保しておくとともに、医療資材等の卸売業者と情報共有を密にし、早めの発注を行っておく。

### シミュレーション

- 訓練教育を兼ねたシミュレーションを複数回行い、PPE 着脱の訓練のほか、会場のゾーニングや検体取り扱いについてのマニュアルを定めていく。回数を重ねる毎に業務の課題が明らかになり、確実な感染対策へと高められる。このため、本番まで繰り返し行うことが望ましい。シミュレーションを行うことで、机上で想定していたものより、大幅に業務を簡素化することができるようになる。
- とくに、地域外来・検査センターに従事する者、特に検体採取を行う者は、感染予防策や検体採取方法について事前に訓練・準備を行っておく。

## 2. センター運用の実際

### 検体採取の流れ

- 事前に各医療機関に定型の『情報共有シート（図1）』『患者配布資料（予約票・検査説明書・自宅療養のアドバイス）（図2）』を配布しておき、検査が必要な患者が発生した場合、これらを用いて地区医師会に予約を入れる。
- センターは12時～14時まで運営しており、当日10時半まで予約可能とする。予約時間は30分毎に5件までと設定し、同時刻に集まった患者から検体を採取することにより、PPE 装着での検体採取者の長時間連続業務を避ける。

- 患者は予約票と検査説明書を持参し、自家用車でセンターへ来場する。誘導員はダッシュボードに置かれた予約票と保険証で本人確認を行い（図3）、車外からカメラで撮影することにより受診記録を残す。拡声器か電話で応対し、直接対面での応対はしない。会場では患者との文書や現金等の受け渡しはない。
- 誘導した経路に車を進めていただき（図4）、検体採取を担当する看護師は患者の健康状態を声掛けで確認する。異常があれば医師へと引き継ぐ。状態が安定していることが確認できれば、鼻腔ぬぐい液の検体を採取する（図5、6）。採取後、患者はそのままドライブスルーで帰宅する。通常、患者が会場に滞在するのは数分程度である。

#### 感染対策

- 診療もしくは検体採取にあたる担当者は、レッドゾーンとしてのPPEとし、手袋、ゴーグル、サージカルマスクまたはN95マスク、袖付きガウンを着用する。検体採取ごとに外側を外し、内側手袋の上からアルコール手指消毒を行い、ふたたび外側手袋を装着する。患者ごとにゴーグル、サージカルマスクまたはN95マスク、ガウンは交換しないが、大量の飛沫を浴びた場合には速やかに交換する。
- 採取した検体を受け取る担当者は、手袋およびサージカルマスクを着用する。手袋は患者ごとに着脱するが、ゴーグルとサージカルマスクを交換する必要はない。
- 事務作業の担当者、屋外で患者誘導する担当者はサージカルマスクのみでよい。

FAX 098-XXX-XXXX TEL 098-XXX-XXXX 浦添地区新型コロナウイルス検体採取センターオーダー用紙

診療情報提供書 令和2年 月 日 ← 主治医記載 → センター記載

担当医殿  
下記患者様はCOVID19感染疑いにて、検体採取をおねがいします。

医療機関名

電話番号

FAX番号

医師氏名

時間外の主治医連絡先:

結果報告書  
センター長 〇〇〇〇

検体採取日 令和 2年 月 日

検査結果 陽性 陰性

結果判明及び報告日 令和 2年 月 日

転機 入院( ) ホテル 自宅

予約番号

**患者情報**

ふりがな		生年月日・年齢	T.S.H.R 年 月 日(才)
氏名		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
電話番号	携帯		自宅
住所			
検査に乗ってくる車ナンバー			
職業	(勤務先・学校等)		
緊急連絡先	氏名	(続柄)	
	電話番号		

**医師による確認事項**

発症年月日 令和 2年 月 日

**ドライブスルー検査不適応項目**

鼻奥まで綿棒をいれる手技に、強い抵抗や拒否が予想される

本人が運転してこない場合の運転手は、同居者など既に濃厚接触者である者に限るが、これを順守できない

陰性証明希望者

**Red symptom**

息苦しい  咳が苦しい  強い倦怠感  著しく元気がない

→ 1項目でもあてはまる場合  
当センターでの検査不可  
救急紹介や行政検査などを検討

**症状**

**Yellow symptom**

発熱 $\geq 38^{\circ}\text{C}$

空咳

下痢( $\geq 3$ 回/日)

筋肉痛・関節痛

頭痛

味覚・臭覚異常(1週間以内)

**Green symptom**

鼻汁(1週間以内)

咽頭痛

微熱( $37.0\sim 38.0$ )

**臨床背景**

①基礎疾患および年齢

糖尿病  がん

高血圧  免疫抑制剤

慢性肺疾患  ステロイド

心不全  60才以上

②公衆衛生的背景

妊婦

医療・介護・福祉従事者

家族内でインフルエンザ様疾患の流行

流行地への渡航歴(2週間以内)

COVID19確定者・疑い者との接触(2週間以内)

10名以上・30分以上の集会参加(2週間以内)

**判定フロー**

Yellow  $\geq 2$ 項目  
または  
Yellow 1項目 + Green  $\geq 2$ 項目 →  当センターへPCR検体採取を依頼

いいえ ↓

Yellow 1項目のみ  
または  
Green  $\geq 2$ 項目のみ → ①  $\geq 1$ 項目  
または  
②  $\geq 1$ 項目 →  当センターへPCR検体採取を依頼

いいえ ↓

①② いずれもなし → 自宅療養を勧める

上記いずれも合致しない → 自宅療養を勧める

主治医として強く疑う

**特記事項** ※新型コロナウイルス感染症を強く疑う理由など

図1 情報共有シート例

検査案内書：検査当日わすれないように！

軽症の新型コロナウイルス感染症疑い患者様の予約制検査です。当検査センターに**予約なしで直接来ても、検査は受けられません**。患者様から直接予約することもできません。医師が診察後に予約した方のみ、検査を行います。  
検査は**ドライブスルー**です。必ず車で、**最低限の人数**で来場して下さい。

あなたと同乗者は、感染している可能性があります。移動中**他の人にうつさない行動**をとって下さい。家を出てから、検査がおわり、また家に戻るまで、**車から一度もおりないで**下さい。検査会場でも車からおりられません。トイレも使用できません。次ページの『検査当日の流れ』もよく読んで下さい。  
センターでは職員と対面しての会話は行えません。**体調不良時や質問は全て電話**で対応するので、常に**携帯電話をつながる状態**にして下さい。**病状の質問はできません**。病状や結果は元の医療機関に問い合わせして下さい。

体調がすぐれず、不安も大きい中ご協力いただき、本当にありがとうございます。一日でも早く皆様の日常が取り戻せるよう心から願っております。

地図



連絡先 080-XXXX-XXXX  
098-XXX-XXXX 平日 10時～17時まで

---

自宅療養アドバイス

検査結果が出るまでは外出をひかえてください。  
結果が陽性の場合には、保健所から連絡があります。  
陰性の場合でも、新型コロナウイルスへの感染が否定されたわけではありません。**PCR検査で陰性証明はできません**。  
以下の3つが確認されるまでは外出をひかえてください。

外出自粛  
解除の目安

① 咳などの呼吸器症状がない  
② 3日間熱がでない  
③ 症状がでてから7日間たっている

療養のポイント

- 最も望ましいのは、症状がある方は他のご家族と別に生活をできる場を準備して、2週間はその場で療養を行うことです
- それが難しい場合は、下記のような方法で家庭内での感染を防ぎましょう

お部屋を分けて過ごす

検査しよう

- 過ごす部屋を分けておきます
- 窓のある部屋を選び、こまめに窓を開けて換気をしましょう
- 部屋の中でもできるだけマスクをつけず（ウイルスが部屋のものにつく量を減らします）

食事は別々にとる

- 食事中はマスクもつけず近い距離で口ものをいれるので、非常に感染が起こりやすくなりますので、一緒に食卓を囲むことは避けます
- 時間を空けて食事をするか、違う場所で食事をします
- 使ったテーブルはしっかりと拭き取り消毒を毎回おこないます
- 食器は一緒に洗ってよいのですが、しぶきが目に入らないように注意します

一緒に使う場所は消毒

- トイレや洗面台、お風呂などは同時に家族と使うのは避けます
- 使ったあとはドアノブ、ハンドルなど触る部分をふきとり消毒します
- 消毒用アルコールの他、食器用中性洗剤 5～10ccをぬるま湯 1リットルに溶かした溶液でも構いません。

体調が悪くなった場合

- 息苦しい、高熱が出る、咳がひどい、水分や食事がとれない、体が動かせない、などの強い症状が出る場合には、最寄りの救命救急センターに連絡をして、PCR検査を受けたことを伝えてから受診をしてください

浦添市医師会

---

事前によく読む 窓はあけない 車からおりない

【検査当日の流れ】

1. くる前に自宅ですること
  - 絶対にもってくるもの5つ
    - ①この検査案内書と予約票 ②保険証 ③飲み物
    - ④マスク（つけてきましょう） ⑤携帯電話（充電も忘れずに!!!）
  - 自宅でトイレをすませましょう。家に戻るまでトイレはできません
  - 食事は1時間以上前に済ませましょう。お薬があれば、普通に飲んでかまいません
  - 少量なら飲みものは飲んでかまいません（500ml ペットボトル 1本以内）
2. できるかぎり時間通りにつくようにして下さい
  - 検査をうける人は、**運転席か運転席の後ろ（右側）**にすわって下さい
  - 早くきても、予約時間より前に検査はできません
  - 方が一遅れる場合は電話して下さい。15分以上遅刻するとキャンセルになります
  - 会場についたら、**予約票**を（検査案内書からはずしてかまいません）、車の外から見えるように、**ダッシュボード右側**に置いて下さい。
3. 車内でお待ちください（通常、予約時間+30分以内には終わります）
  - **車外にでないで**下さい
  - 会場についたら指示があるまで**窓はあけないで**下さい
  - **職員に直接声をかけないで**下さい。用がある場合は**電話**して下さい
  - **トイレにはいけません**。がまんできない時は自宅に戻って下さい
4. 検査をうけます（インフルエンザ検査の要領と同じです。がんばりましょう！）
  - 誘導員にしがたって、検体採取スペースに車を移動させ、**キアをパーキング**に置いて**サイドブレーキ**をして下さい
  - エアコンを**off**にして、**座席を一番前**によせて下さい
  - **マスクから鼻だけだし**、口はおおたままにして、マスクを手で軽くおさえて下さい
  - **検査員の指示で、窓をあけて**下さい。（指示があるまでは、**窓をあけないで**下さい）
  - インフルエンザの検査と同じように、**鼻から綿棒**をいれて、鼻をこすります
  - **背中**は背もたれに、**顔はヘッドレスト**にもたれ、顔は正面を向き、**検査員のほうを向かない**ようにしましょう
5. お疲れ様でした。気をつけてお帰り下さい
  - 検査が終わりしだい、**どこにもよらずに**、自宅へもどって下さい
  - 結果は主治医から電話します。長くて約4、5日かかります
  - 検査結果はセンターではわかりません
  - 陰性の場合は主治医からの連絡の後、保健所からも連絡があります
  - 陰性の場合は主治医にしがたって下さい（別紙自宅療養のアドバイスを参考に）
  - 検査希望者や見物者が殺到する場合は、検査センターを閉鎖します
  - **SNSにあげたり、だれでも検査が受けられるなどの勘違いした情報を流したりは、絶対にしないで**下さい

当日質問は電話 080-XXXX-XXXX 手短に

---

予約票：会場についたら、車の外から見えるようにダッシュボードに置いてください

予約番号		こちらに保険証を置いてください
予約日時	令和2年 月 日 時 分	
フリガナ		
氏名		
携帯番号		
紹介元医療機関		

医療機関へ：マジックで、わかりやすく記入してください

図2 患者配布資料例（4枚綴り。紹介元医療機関で患者に渡す）



図3 予約票の運用方法（予約票と保険証を車外からカメラで撮影し、来場した記録して残す）

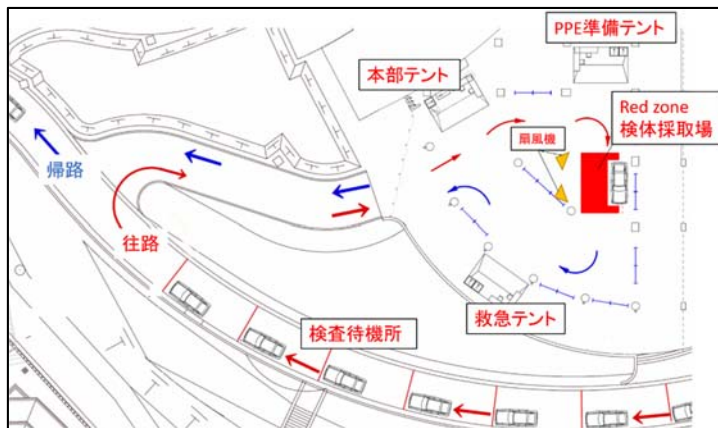


図4 会場見取り図

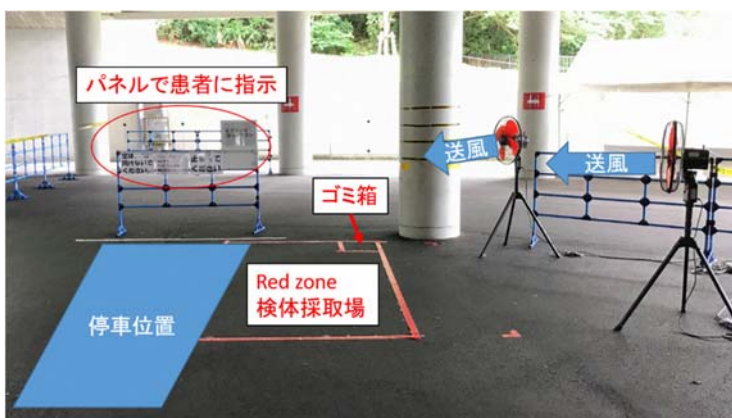


図5 検体採取場の配置図（検体採取時に発生するエアロゾル対策として、車窓は反対側も開放し、採取者の背側2方向から送風する）



図6 検体採取の様子（シミュレーション時）